

太陽光発電事業など。

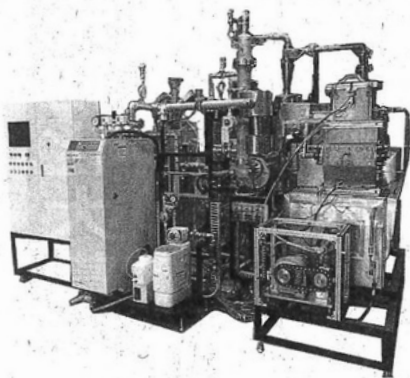
を営むサンライフコーポレーション（東京本社・東京・中央、野口）は、無酸素空間で行われる熱分解によって対象を効率的に処理する。400～500度のこのたび、「SLC熱分解再生資源化装置」を発売した。プラスチックやタイヤ、電線類などを処理可能な装置となっており、開発のなかでは神戸大学と熱効率の向上・ガスの流体力や耐圧・機密耐腐食性などについて共同研究を行って開発している。

熱分解装置を発売

サンライフコーポレーション

プラ・タイヤ・電線類等から油分抽出

装置は20リットルコンテナベースでどこにでも適用できるように設計しており、顧客の要望に



SLC熱分解再生資源化装置

合わせることで形状を変えることができる。また、IoT機能を搭載した場合に、デバイスのリアルタイム通信とデータ収集機能を活用した効果的な監視を実現。装置内の状況を常時確認でき、緊急時の遠隔操作による停止も可能。

同社は7年ほど前から熱分解技術の開発に取り組んでおり、これから環境に深く寄与していくという思いから、CO₂排出量を低減しながら再生燃料を生産できる装置を提供したい」と述べている。

工場系。使用済み製品。金属類